

ウスタビガ

「チョウ目・ヤママユガ科」

葉をすっきり落とした冬の雑木林を探索すると、クヌギやコナラの枝先にしっかりと付着した緑色のマユを見つけ、それがあります。そのマユは、ヤマカマス、ツリカマスなどと呼ばれます◆カマスとは、稲わらで編んだ袋のことで、その形をあらわしたものでしょう。手に取ってみると硬く、上部には横に閉じた脱出口があり、底の部分には水抜きのような小さな穴まで開いています。これは、成虫が羽化したウス



マユから脱出し、翅をのばす、茶褐色のウスタビガのオス



翅に丸みを帯び、色彩が黄色で美しいウスタビガのメス

タビガの空マユです。このマユのことを、ガンガラピーとかカラジツコなどと呼ぶところもあります◆かつて、雑木林は、木材は薪や炭に、落ち葉は堆肥として利用する場所でした。だから、マユにもその場所ならではの親しみのある名前が付けられていたようです◆成虫は秋も終わりの11月初旬に羽化します。1970年代の初めごろは、火の見やぐらの裸電球に止まっていたこともありましたが、しかし、今は周りの環境が明るくなつてしまったために減少し、郊外の深夜営業店の明かりに、稀に飛んできます。飛来時刻は、メスは夜11時ごろ、オスは深夜の2時〜3時ごろです。
(築比地秀夫)

おごせ アートミュージアム



2年 ^{しまだ} ^{じょう} 島田 丞 くん
『ロケットにのったよ』



5年 ^{なか} ^{みき} 仲 三輝 さん
『白川郷のきれいな川』



梅園小学校

10月の納税

町 県 民 税 第3期
国民健康保険税 第4期
(10月31日まで)

バーコード印字のある納付書をお持ちの方は、納期限内であれば、コンビニエンスストアで納付することができます。

詳細は納付書をご覧ください。

人口と世帯

9月1日現在
()は前月比

総人口	12,472人(- 2)
男性	6,214人(-10)
女性	6,258人(+ 8)
世帯数	4,931世帯(- 1)

防災行政無線テレホンサービス

TEL 0800-800-8099

あとがき

越生中の生徒さんは新地町に行き、自分の目で見て、耳で聞き、足で歩き、頭で考えました。まさに「百聞は一見に如かず」。2年前、ボランティアに行ったとき見た光景や感じたこととリンクしてきました。生徒のみなさんが災害時に活躍してくれることを期待しています。
いつになく真面目すぎたかな？半年の間で大人なコメントに成長しました。
【太陽】